

25. 大山三峰山 (神奈川県中部 標高 935m)

本厚木駅北口、8時40分発の宮ヶ瀬湖行きのバスに乗りました。この日は利用客が多く臨時バスが1台増発されました。約30分後、煤ヶ谷バス停に到着。やはり大山三ッ峰山に向かうのでしょうか3組ほどの登山客が降りました。バス停からすぐ谷太郎川にかかる橋を渡り左に折れ、谷太郎林道に入ります。

5分ほど行くと大山三ッ峰山へ向かう登山道の標識が右手に見えてきますが、まずはそのまま100mほど林道を進むとトイレがあるので、ここで登山前の準備をしましょう。そして近くの橋から谷太郎川をのぞいてみてください、もしかしたらカワガラスが川底で採餌している姿が見られるかも知れません。またキセキレイが尾を振っている姿も見られるでしょう。春先川岸の樹木にイカルが群れていたこともありました。

準備が出来たら先程の登山道の分岐まで戻り、大山三ッ峰山へ向かいます。登山道入り口付近に“この場所でヒルを落とさないで！！”の看板が立てられているように、春先から梅雨どきにかけてヒルが多く生息する一帯ですので注意が必要です。ヒルは塩が苦手なようなので、布に塩を棒状に巻き登山靴の足首に巻いておくとヒルが上がって来られないと聞いたことがあります。

登山口は明るい林縁で、ジョウビタキやホオジロ、モズなどが見られると思います。また、春にはオオイヌノフグリ、スミ

レ、ヤマドリソウなどの小さくてかわいらしい花が咲いています。登り始めは暗い針葉樹の林が続きますが、30~40分歩くと鹿の防護柵に突き当たります。ここで一息ついて衣類の調整をすると良いでしょう。秋口、ジョウビタキが縄張り争いをしていました。この後も杉や檜の針葉樹の林ですが、ちょっと行くと落葉樹の林になり、ほっとしますね。11月末ですと紅葉の見ごろでしょう。さらに40~50分行くと物見峠を右に分ける分岐に着きます。ここは間違いやすい場所ですが、物見峠の方に向ったとしても20分ほどの余分な回り道で元の三峰山へ向う道に合流できます。ただこの道は右斜面に崩れた場所があり注意が必要です。特に雪がついた冬場はなおさらです。

その後、頂上直下の急登を登り、鎖場のあるピークを一つ二つ越えると頂上です。



冬の大山三峰山

コースタイム 5時間

煤ヶ谷バス停 - (65分) - 山の神 (物見峠分岐) - (50分) - 大山三峰山 - (80分) - 不動尻 - (50分) - 広沢寺温泉 - (15分) - 広沢寺温泉入り口

地形図：1:25,000 厚木、大山 案内図：丹沢 (昭文社)

季節

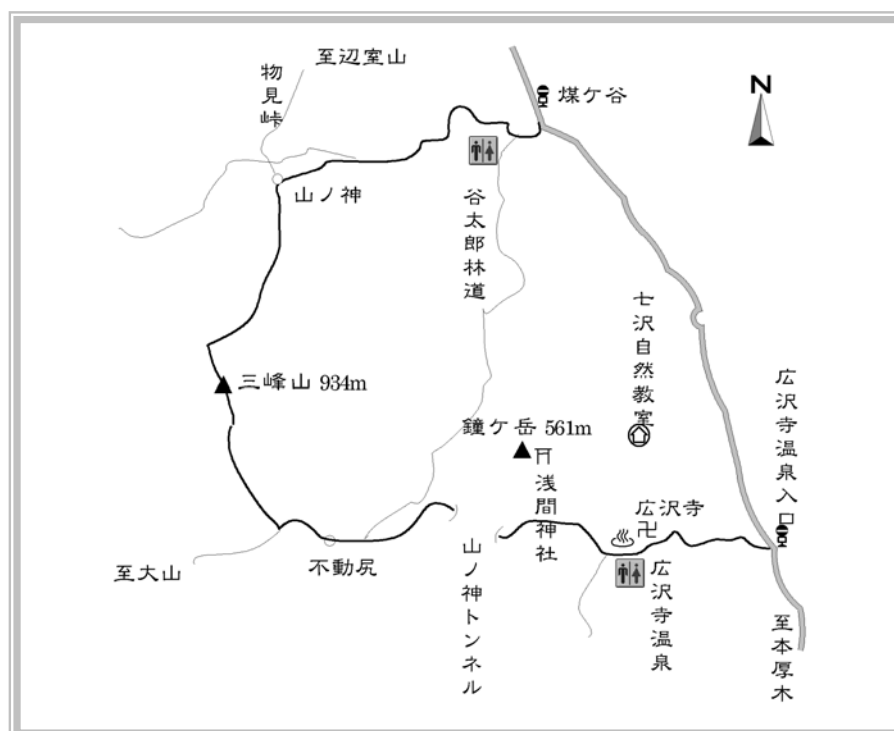
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

25.大山三峰山（神奈川県中部 標高 935m）

額に汗して登っている時、思いがけずコガラの伸びやかなさえずりがしてほっと心が洗われる思いがしました。

この山も結構人気が高く狭い山頂は昼時混雑します。昼食後下山ですが、しばらく痩せ尾根のアップダウンが続き鎖場などもあり慎重に降りていきましょう。昼過ぎな

ので鳥の気配はちょっと少ないですが、春は新緑・秋は紅葉となかなか良い雰囲気です。そして不動尻のキャンプ場に下ればその先は別掲の探鳥地“谷太郎林道”にも記述されている長い二の足林道をへて広沢寺温泉に出ます。温泉につかりビールで喉を潤すのも一興でしょう。（渡部 徹）



観察できた鳥

早春から初夏にかけて（1994. 4. 24 , 1996. 3. 24）

トビ・コジュケイ・キジ・キジバト・アオバト・ツツドリ・アマツバメ・アオゲラ・アカゲラ・コゲラ・キセキレイ・ヒヨドリ・カワガラス・ミソサザイ・コマドリ・コルリ・トラツグミ・クロツグミ・ツグミ・ヤブサメ・ウグイス・センダイムシクイ・オオルリ・エナガ・ヒガラ・ヤマガラ・シジュウカラ・メジロ・ホオジロ・アオジ・カワラヒワ・イカル・スズメ・カケス・ハシボソガラス・ハシブトガラス

秋（1999. 10. 24 , 2000. 11. 19）

アオバト・キセキレイ・ハクセキレイ・セグロセキレイ・ヒヨドリ・モズ・ジョウビタキ・ウグイス・エナガ・コゲラ・ヒガラ・ヤマガラ・シジュウカラ・メジロ・ホオジロ・スズメ・ハシボソガラス・ハシブトガラス

あし

- ・行き 小田急本厚木駅 神奈川中央交通バス 宮ヶ瀬湖／上煤ヶ谷行き 煤ヶ谷下車
- ・帰り 広沢寺温泉入り口 神奈川中央交通バス 本厚木／伊勢原行き
- ・交通機関問い合わせ先：ページ 117 参照